

## 平成29年度鳥羽市環境保全審議会事項書

日時：平成30年2月7日（水）

13時30分～

場所：鳥羽市役所 本庁舎3F

市議会 第3委員会室

### 1. 開 会

### 2. あいさつ

### 3. 審議事項について

(1) 鳥羽市における再生可能エネルギー発電事業と自然環境等の保全との調和に関する条例（案）について

(2) 地球温暖化対策について（資料1-1, 1-2）

(3) 平成29年度公害の種類別苦情について（資料2）

(4) 海岸漂着物対策について（資料3）

(5) その他（資料4-1, 4-2）

・平成29年度（平成28年度実施分）内部環境監査結果（報告）

## 地球温暖化対策について

**電気自動車の推進**

鳥羽市では、平成 28 年 1 月より、電気自動車（日産 e-NV200）を 3 年間無償借用しており、現在、市内及び近隣市町への出張の際に利用しています。

平成 30 年 1 月 25 日現在、電気自動車の総走行量は、11,109 km で、年間約 5,500 km 走行している計算になります。

鳥羽市役所における平成 28 年度温室効果ガス排出量では、ガソリンの利用量が、前年度に比べ 3.5% 増加しました。

このことから、各課に対し、電気自動車が、ガソリン車と比べ、燃料費が 1/4 であることから、電気自動車を利用することで、温室効果ガスの排出量を減らすことができ、地球温暖化防止へつながることから、今以上に電気自動車を活用してもらうよう周知しました。

なお、鳥羽市内の電気自動車の充電スタンドの箇所数は、平成 30 年 1 月 1 日現在 18 か所（急速 1 か所、普通 17 か所）であります。

**庁舎における LED の設置促進**

鳥羽市役所本庁舎における LED の導入率は、6.5% となっています。

現状、庁舎全ての蛍光灯を LED 化することは困難ですが、LED にすることで、CO2 削減に大きく寄与することから、電気設備の故障や取替等があった場合には、LED を導入するようにしていきます。

**みどりのカーテンプロジェクト**

平成 29 年度、地球温暖化防止活動の一環として、「みどりのカーテン」設置を推進するため、ゴーヤの苗を無料で、個人や事業所 81 件に 850 本（H28：745 本）配布しました。

区分	配布人数	配布数	備考
一般市民	54	497	
市職員	9	90	
学校保育所等	16	180	
市その他施設	2	83	
合計	81	850	

**鳥羽市における間伐状況の推移**

鳥羽市での間伐は、松尾町・河内町・岩倉町・浦村町の山林で実施されています。

平成 25 年度～平成 28 年度でおよそ 137 ha の間伐を実施しており、森林の適正な整備を図るとともに、CO2 の吸収も行われていることから、間伐を通じ、間接的ですが、地球温暖化防止に寄与しています。

**市が実施した間伐等面積  
(平成25年度～平成28年度)**

年度	間伐等面積(ha)
平成25年度	21.454
平成26年度	36.09
平成27年度	65.797
平成28年度	14.448
合計	137.789

資料提供：農水商工課

## 部門別CO2排出量比較表

部 門		年 度	単 位	H20 (基準年度)	H27	対基準年度比 (H27/H20)
産業部門	製造業		千トンCO2	10.8	12.5	116.1%
	建設業・鉱業		千トンCO2	3.6	2.0	55.7%
	農林水産業		千トンCO2	4.4	4.4	99.5%
	小計(①)		千トンCO2	18.8	18.9	100.6%
家庭部門(②)			千トンCO2	30.5	31.3	102.6%
業務部門(③)			千トンCO2	122.8	141.3	115.1%
運輸部門	自動車	(旅客)	千トンCO2	27.4	23.4	85.3%
		(貨物)	千トンCO2	19.3	4.8	24.9%
	鉄道		千トンCO2	1.4	1.4	101.9%
	船舶		千トンCO2	28.6	32.2	112.6%
	小計(④)		千トンCO2	76.7	61.8	80.6%
廃棄物部門(⑤)			千トンCO2	4.4	3.8	86.0%
合計(①+②+③+④+⑤)			千トンCO2	253.2	257.1	101.5%

\* CO2排出量算定方法は、地球温暖化対策地方公共団対実行計画(区域施策編)策定マニュアル(第1版)簡易版【環境省】に基づく簡易計算方法による。

## 平成29年度公害の種類別件数について

(平成29年4月1日～平成30年1月31日現在)

## 【公害別主な項目及び件数】

大気汚染	主な項目	件数
	野焼き・焼却	11
	合計	11
水質汚濁	主な項目	件数
	排水・汚水関係	5
	油の流出	5
	メガソーラー関係	1
	合計	11
土壌汚染	主な項目	件数
	土壌汚染処理施設の建設計画	1
	合計	1
騒音	主な項目	件数
	騒音苦情	1
	合計	1

悪臭	主な項目	件数
	周辺悪臭	3
	ゴミ・野焼き	7
	合計	10
廃棄物投棄	主な項目	件数
	不法投棄	24
	合計	24
その他	主な項目	件数
	空き地空き家管理	3
	ごみ関係	10
	動物関係	13
	墓地関係	3
	浄化槽関係	2
	太陽光発電施設関係	3
	便所・し尿関係	3
	合計	37
	合計	95

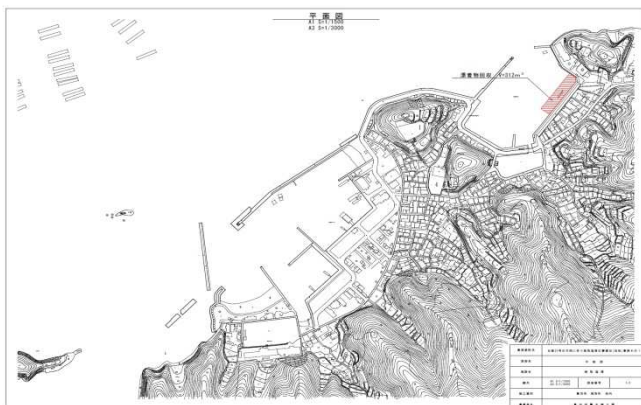
## 【公害別件数の比較(4/1～1/31)】

項目	H29年度	H28年度
大気汚染	11	18
水質汚濁	11	9
土壌汚染	1	1
騒音	1	2
悪臭	10	8
廃棄物投棄	24	5
その他	37	34
合計	95	77

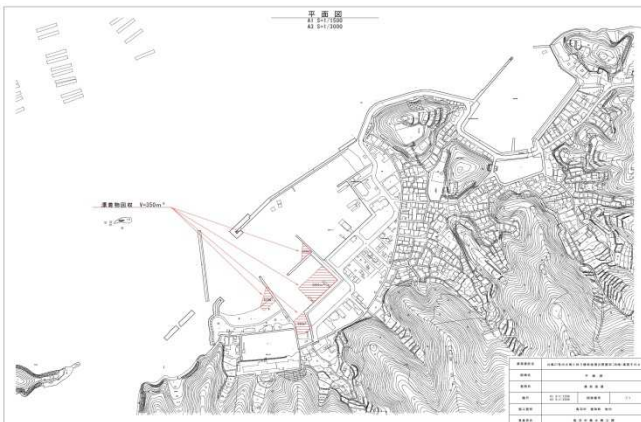
# 平成29年10月22日台風21号における桃取漁港への漂着被害

平成29年10月22日に発生した台風21号の大雨に伴い、鳥羽市桃取漁港(海岸)内に流木やゴミ等が多く漂着した。当地区は、漁業従事者が多く、漂着物等により漁業活動に支障を来すことから、それを回収するための緊急措置が必要となった。回収にあたっては、オイルフェンスによる再流出の防止と合わせ、委託事業により、事業者が重機等を使って作業を実施し、復旧を行った。

【位置図】



【状況写真】



漂着物の総重量は662立米(約530トン)に達し、漂着物の種類は流木や葦等の他、ペットボトルやプラスチック等のゴミまで多種のものが漂着した。

平成29年度（平成28年度実施分）内部環境監査結果

平成30年2月2日  
地球温暖化防止事務局

1. 監査内容

- ①内部環境監査調書に基づく確認
- ②平成28年度エネルギー使用量等の把握状況

2. 監査方法

- 1. ①及び②に基づく提出書類による審査（1月25日～30日）

3. 監査結果

（内部監査調書）

・地球温暖化防止計画に定められている項目の実施状況については、全体的に概ね実行されていました。今回の調書で、実施できなかった項目がある課については、今後実施できるように努めていただくとともに、朝礼等で周知して下さい。

・平成28年度において、鳥羽市役所の温室効果ガス排出量をもとに算出される二酸化炭素排出量は、前年度比102.7%となり、2.7%の増加となりました。

・エネルギー使用量を各課別にみると、8課において、前年度より二酸化炭素排出量が増加していました。主な要因としては、ガソリン使用量や、電気使用量の増加によるものが多いというのが特徴的でした。

使用量が増加した課からは、アイドリングストップなどのエコ運転を行うことや、節電を心がけるなど、改善方法の提案がありましたので、それらを実行していただき、使用量の抑制に努めて下さい。

\*二酸化炭素排出量が増加した課

観光課 農水商工課 市民文化会館 消防本部 議会事務局 定期船課  
教育委員会学校教育課 教育委員会生涯学習課

・エネルギー使用量の削減を行う方法として、次のような方法も検討して下さい。

1) 電気自動車の活用

平成27年度より、電気自動車1台を、市民文化会館車庫に配置しております。

この車は、市の集中管理の公用車として利用することができます。

電気自動車は、ガソリン車に比べ、燃料費が約1/4であることから、今までガソリン車を利用していた所を、電気自動車を活用することにより、二酸化炭素排出量

を減らすことができます。電気自動車を積極的に活用して下さい。  
(参考：平成27年度から平成30年1月25日現在の電気自動車走行距離⇒11109 km)

2) LED照明への交換

例えば、鳥羽市役所本庁舎内におけるLEDの導入率は、6.5%となっています。  
従来の蛍光灯よりも、LED蛍光灯の方が、CO2排出量を大幅に削減することができます、地球温暖化防止に寄与することから、市の施設全般への導入促進に取り組んで下さい。



【各課別CO<sup>2</sup>排出量及び削減率年度比較】

所 属	CO <sup>2</sup> 排出量(kg)		CO <sup>2</sup> 削減率 (H28年度/H27年度)
	H27年度	H28年度	
会 計 課	0	0	0.0%
建 設 課	81,147	77,253	95.2%
観 光 課	11,432	13,029	114.0%
農 水 商 工 課	37,018	38,481	104.0%
市 民 課	35,279	31,933	90.5%
総 務 課	71,498	70,617	98.8%
文 化 会 館	173,759	198,733	114.4%
選 挙 ・ 監 査	0	0	0.0%
企 画 財 政 課	179	179	100.0%
税 務 課	2,995	1,976	66.0%
環 境 課	505,002	497,879	98.6%
消 防 本 部	90,898	102,840	113.1%
議 会	326	942	288.5%
定 期 船 課	2,500,461	2,759,222	110.3%
教 委 ・ 総 務	323,478	319,312	98.7%
教 委 ・ 学 校	47,229	48,543	102.8%
教 委 ・ 生 涯	69,586	73,754	106.0%
水 道 課	958,510	834,536	87.1%
健 康 福 祉 課	322,901	304,816	94.4%
合 計	5,231,700	5,374,043	<b>102.7%</b>

前年度よりCO<sub>2</sub>排出量が増加した課

\* CO<sup>2</sup>排出量を計算するにあたり、電力量は、国が指定する係数を利用します。  
 当該係数は、H27年度:0.454 H28年度:0.418となっています。  
 当該比較については、前年度と純粹に比較するため、H28年度係数は、H27年度  
 の係数を用いて計算しました。